# ペタライト対策に注力

萬古焼産業の持続的な発展には、ペタライトの調達難に始まり、担い手不足や消費者ニーズ変化への対応など課題が山積している。萬古陶磁器工業協同組合（四日市市）の熊本哲弥理事長に足元の状況や今後の展望を聞いた。

## 萬古焼〈下〉

地場産業の現在地

### 萬古陶磁器工業協同組合理事長
### 熊本　哲弥氏に聞く
（くまもと・てつや）

―萬古焼土鍋に必要な鉱石「ペタライト」の輸入が再開した。

「来年夏ごろまでの生産に必要な一定量の在庫を確保することができている。それ以降も調達できる見通しだ。ただ、ペタライトを調達する過程において、ジンバブエの鉱山を買収した中国企業などが流通過程の間に入ることなどから、ペタライト価格は輸入停止前に比べて3～4倍と高止まりしている」

「産業存続のためには、ペタライト対策に取り組んでいかなければならない。対策は主に三つで、ジンバブエ以外の調達ルートを確保すること、ペタライトの使用量を減らした製品の開発、ペタライトの代替原料の開発だ。ペタライト使用量の低減商品や代替原料の開発は一部のメーカーなどで実績を持つ。調達ルートに関しては、カナダなどの候補が複数あるが本格的な採用には至ってない。（ペタライトの）サンプル試験で、品質などを確認している。腰を据えて取り組む」

―1990年代には300社以上あった萬古焼メーカーは大幅に減少し、担い手が不足している。

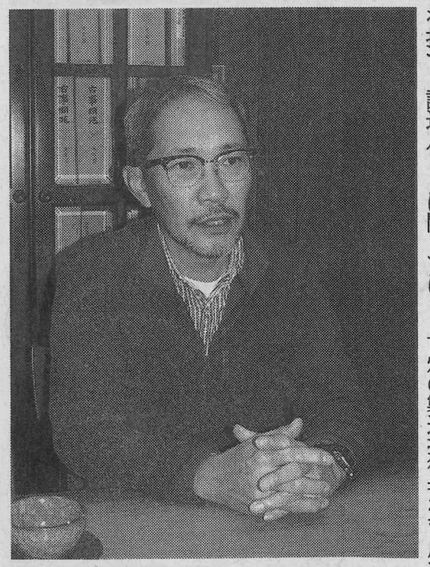
「当組合の会員50社のうち、実働状態にあるメーカーは45社。一部の企業では、外国人材を採用する動きが広がってきた。また、萬古焼の製造技術者を育成する『やきものたまご創生塾』は継続実施しており、これ近くが萬古焼を中心に陶で活躍している」

「人件費が高騰していら、製造工程における省かせない。当社（熊本理長を務める銀峯陶器）で4年ほど前に、一部の土ついて、ふた表面にうわ塗る『施釉（せゆう）』ボットを導入し、自動化ただ、こうした設備を扱くまでも人であるため、やノウハウを次世代へし承していくことも重要だ

―消費者の生活スタイの対応は。

「萬古焼事業者は、大得意とするもの、手作りしているものと分かれれぞれの強みを生かし、ニーズを意識したものづていくことが大切だ」

（この連載は桝田宏行ました）



「製造技術やノウハウを次世代へしっかり伝承していかなくてはならない」と話す熊本理事長

# 一戸建て賃貸事業を拡大

## 不動産業のライズワン

### 不整形地を有効活用　2030年までに50棟へ

不動産業のライズワン（本社大垣市楽田町２の1727の６、福本大作代表取締役、電話0584・71・9421）は2030年までに、一戸建て賃貸住宅の保有数を50棟に拡大する。土地の形が悪く、買い手が付きづらい不整形地を活用して、通常のアパートをやや上回る手頃な家賃で提供する。夫婦のみの世帯や、親との再同居などライフプランの多様化で一戸建ての賃貸需要が伸びている。ビジネスモデルを確立し、不整形地の活用を進める。

（西濃・野田哲示）

福本大作代表取締役

同社は2020年から大垣市郊外で、一戸建て賃貸物件の供給を開始した。現在、19棟の物件を保有する。1件当たりの敷地面積は99～132平方㍍（30～40坪）で、駐車スペースを2台確保。建物は2階建て、間取りは3LDK。

家賃は月8万～9万円台を設定。住宅購入の分岐点とされる10万円を超えない金額を意識する。福本代表は「大垣市では、新しく建てられた2LDKの集合賃貸住宅の相場が月7万～8万円くらい。あと1万円ほど出せば、広い一戸建て住宅に住めるイメージだ」と説明する。

同社は千平方㍍以上の不整形地開発を得意とする。不整形地でも適切な分割や土地造成などを通じて数件分の整形地を確保できる。整形地は分譲地として販売し、分割で余った不整形地は一戸建て賃貸住宅を建築して有効活用する。

福本代表は仲介業者として、関東の新興住宅メーカーの中部進出を担当。その際に土地の取得、造成、建材の仕入れ、建築などで複数の事業者と関係を築き、独自の供給網を確立した。土地代と建築コストを大幅に抑えつつ、大手ハウスメーカーと同程度の品質の住宅を供給できる。

今後は大垣市をはじめ、瑞穂市、岐阜市に進出して分譲地や一戸建て賃貸の開発を進める。

福本代表は「同業他社では不整形地の活用は難しいが、当社なら一戸建て賃貸で余すことなく有効活用できる。まずは50棟まで展開して、同業他社にはまねできないビジネスモデルを確立したい」と話す。

ライズワンは05年設立。24年6月期売上高は約3億円。

大垣市青柳町に建築した一戸建て賃貸住宅
（写真提供＝ライズワン）

## ビジネス商談会開く

### 岐阜会議所と岐阜信金

【岐阜】岐阜商工会議所と岐阜信用金庫は19日、岐阜市の同会議所で「第9回売り込みビジネス商談会」を開催した。岐阜地域ならではの商材を求めるバイヤー12社と、自社の商品やサービスを売り込みたい地元事業者ら31社が商談に臨んだ。

ビジネス商談会は、会員や取引先の新たな販路開拓や売り上げ増加などの支援が目的。県内の各会議所、信金なども協力バイヤーが求めとに、自社の商みみたい事業者トを作成する事ったうえで商談食品はみそな品、トマトなどイーツ類。雑貨ブ発祥の地としウを生かしたシド、繊維製品やど伝統工芸品と社あたり30分間商談を行った。

同会議所中小の担当者は「バ会は受け皿が

商談に力が入るバイヤーと事業者ら

## 奨学生交流会を開催
### OB・OGらも参加

【西濃】公益財団法人田口福寿会（会長＝田口義隆セイノーホールディングス社長）は、岐阜市内で奨学生交流会を開催で6回目。ひけける大学生91人OG13人が参加

交流会では、グループトー た。OB・OG通じて、奨学生ャリア設計なたな気づきや前を得た。

参加した奨学のつながりを感国の各学で活なの姿を見て良った」と話した

田口福寿会は に、西濃運輸創 口利八夫妻の私 れた。

田口福寿会奨 県内の公立高校 とり親家庭など

世代を超えた交流で、奨学生は新たな気づきや前向きな考えを得た


岐阜・三重

岐阜支社
岐阜市柳ヶ瀬通1-12
岐阜中日ビル8階
TEL058(266)7576
FAX058(262)6571

東濃支局
多治見市上野町1-75
日映マンションⅢ602
TEL、FAX兼用
0572(23)7812

西濃支局
大垣市室本町2-39
竹中ビル203号
TEL、FAX兼用
0584(75)1289

三重支社
津市栄町4-643
津栄町三交ビル3階
TEL059(228)2545
FAX059(271)6311

四日市支局
四日市市中浜田町4-16
ロイヤルマンションHAMADA208号
TEL059(354)6116
FAX059(329)5333